

# 機械基礎補修例1

## 1000t鍛造プレスの基礎補修(エポキシグラウト)

アンカーの破損やベース廻りのグラウト脱落から機械の固定力不足を生じ、機械に高振動が発生していました。基礎コンクリートの劣化部分を研り取り、エポキシグラウトを打設する補修を行い機械の安定運転を再開できました。



鍛造プレス機の全景

### 施工手順



既設ベースの研り



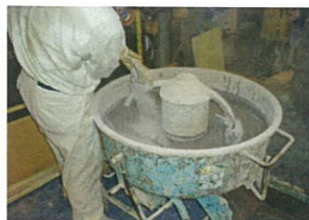
研り完了



既設ベースを本体に固定



配筋・型枠の設置



エポキシグラウト混合  
アルファテック800(AT800)



エポキシグラウト打設



一段目・グラウト打設終了



脚部とベースの間にチョック材を打設



エポキシチョック材混合



エポキシチョック打設(厚み25mm)



油圧台にてレベル調整



最終グラウト打設



グラウト完了

### 基礎の劣化状況



脚部のアンカー破損



ベース廻りのグラウトが脱落